

# 新庁舎建設基本設計（案）に関する 市民説明会



人、まち、自然をつなぎ、次世代の子どもたちへつなぐ庁舎をめざして

令和 元年 8 月  
富良野市

# 本日説明する内容

1. これまでの経過
2. 新庁舎建設基本設計（案）
  - （1）基本方針
  - （2）計画概要
  - （3）平面計画
  - （4）環境配慮計画
  - （5）防災計画
  - （6）概算工事費及び事業スケジュール
3. 今後のスケジュール

# 1. これまでの経過

平成23年3月 東日本大震災

平成28年4月 熊本地震

新設

期限あり

平成29年4月 国の財政支援  
(市町村役場機能緊急保全事業)創設

現 庁 舎



築50年経過

現文化会館



築47年経過

老朽化や耐震性の不足など  
多くの課題を抱える状況

庁舎と文化会館の複合化による建替え

## < 新庁舎建設の経過 >

平成24年 庁舎検討委員会設置

平成25年 基金創設(財源確保)

平成30年5月 基本構想策定

平成30年8月～平成31年3月  
新庁舎建設検討委員会

令和元年5月 基本計画策定

令和元年8月 基本設計(案)  
新庁舎の配置や構造、必要な機能・設備等  
基本的な設計方針

## 2. 新庁舎建設基本設計（案）

### （1）基本方針

# 『人、まち、自然をつなぎ、次世代の子どもたちへつなぐ庁舎』

基本計画の基本方針をもとに、新庁舎建設テーマの実現をめざし、  
庁舎と文化会館機能の複合化により新庁舎を整備します。



## 2. 新庁舎建設基本設計（案）

### （1）基本方針

# 全体計画 ～ 人、まち、自然をつなぎ、次世代の子どもたちへつなぐ庁舎 ～

## 人と人、人とまちをつなぐ庁舎

- ▶ 協働まちづくりの拠点
- ▶ 市民が気軽に訪れて集える場「(仮称) 市民交流プラザ」  
次世代の子どもたちを育む「(仮称) 子どもの遊び場」
- ▶ コミュニケーションボイド（吹抜空間）やガラスを用い  
上下階や建物内外をつなぐ、明るく開放的な空間

## 自然をつなぐ庁舎

- ▶ 建物形状はシンプルな矩形（長方形）、水平ラインで  
建物のボリュームを抑え、山並みやスカイラインを守り  
富良野らしい自然と調和した外観



富良野の豊かな自然のイメージ（写真提供：東山フォトコンテスト）



北側外観イメージ



南側外観イメージ

## 2. 新庁舎建設基本設計（案）

### （1）基本方針

#### 施設計画（基本計画の基本方針に基づく施設計画）

##### **基本方針【1】 防災拠点機能を発揮できる災害に強い庁舎**

- ▶ 耐震構造 非常用のライフライン（3日間）確保
- ▶ 1階床レベルを嵩上げ、重要設備の上層階設置 建物の安全性と業務継続性を確保
- ▶ 災害対策本部機能を確保

##### **基本方針【2】 市民が利用しやすい庁舎**

- ▶ 分散している庁舎機能の集約 市民窓口のワンフロアに配置 「総合窓口」1階に配置
- ▶ 市民活動、窓口・執務室、議会エリアを区分 市民が利用しやすい階構成

##### **基本方針【3】 人や環境にやさしい庁舎**

- ▶ 各階に多目的トイレ、段差の無い床、授乳室、思いやり駐車場等、利用者にやさしい庁舎
- ▶ 地中熱やコミュニケーションボイド（吹抜空間）の自然光・自然通風で、自然エネルギー活用

##### **基本方針【4】 機能性・効率性・経済性を重視した庁舎**

- ▶ 汎用性の高いコンパクトな執務室
- ▶ 耐久性・メンテナンス性で、長寿命化や維持管理コスト抑制を重視

##### **基本方針【5】 市民が気軽に訪れて親しみやすい庁舎**

- ▶ 市民が気軽に訪れて集える場「(仮称)市民交流プラザ」 市民活動エリアを1階に集約
- ▶ 次世代を担う子どもたちを育む環境づくり 「(仮称)子どもの遊び場」1階に配置

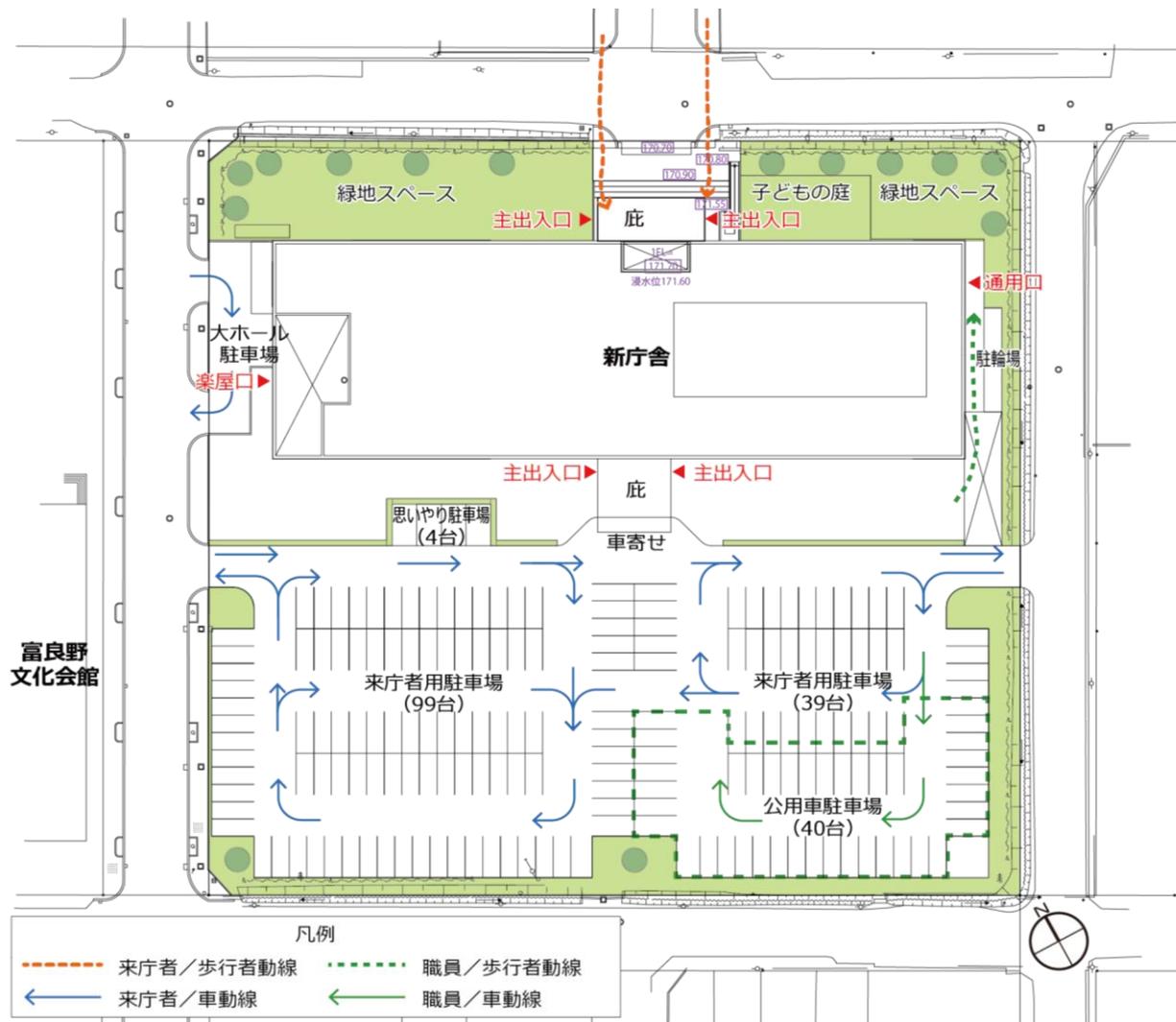


## 2. 新庁舎建設基本設計（案）

### （2）計画概要

#### 配置計画

- ▶ 新庁舎は敷地北側に配置
- ▶ 北側と南側に主出入口を設置
- ▶ 敷地南側に駐車場を集約  
南側主出入口に思いやり駐車場  
建物東側に駐輪場
- ▶ 南側駐車場に車寄せ  
庇下で雨に濡れずに出入り可能



## 2. 新庁舎建設基本設計（案）

### （2）計画概要

#### 断面計画

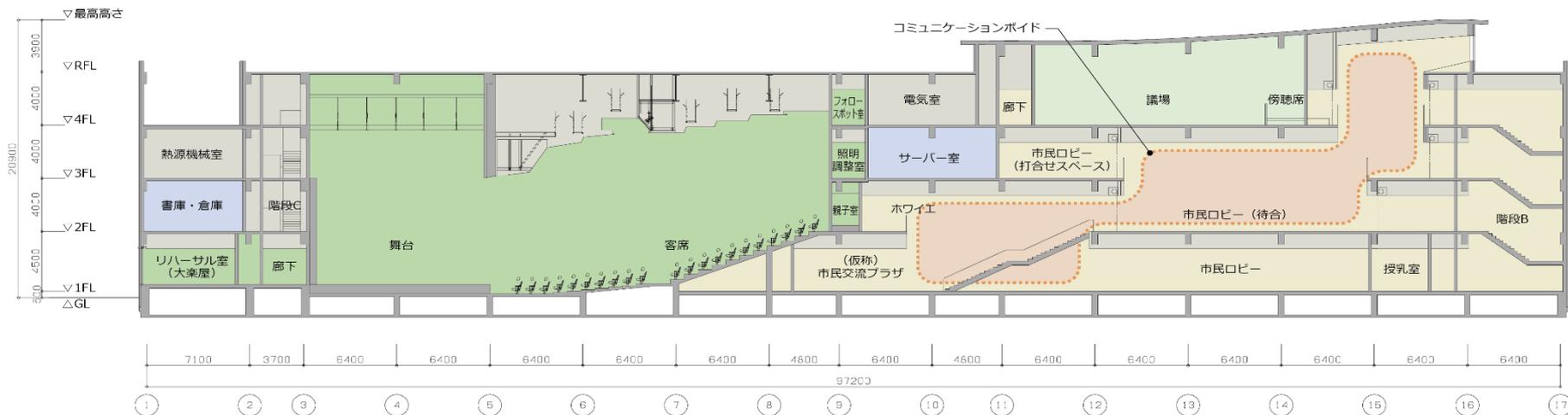
##### 階高の設定、わかりやすい階構成

- ▶ 1階の階高4.5m 2階以上階高4.0m
- ▶ 1階 市民活動エリア
- ▶ 2・3階 窓口・執務室エリア
- ▶ 4階 議会エリア
- ▶ 1～4階 コミュニケーションボイド（吹抜空間）  
明るく開放的 上下階の見通し わかりやすく  
賑わいを感じられる計画



##### 安心安全

- ▶ 1階床レベルを0.5m嵩上げ 重要設備の上層階設置 洪水時の浸水のリスクを回避 建物の安全性確保
- ▶ 1階と2階以上で設備系統分け 水害収束後に早期に事務機能が再開できる体制整備 業務継続性を確保



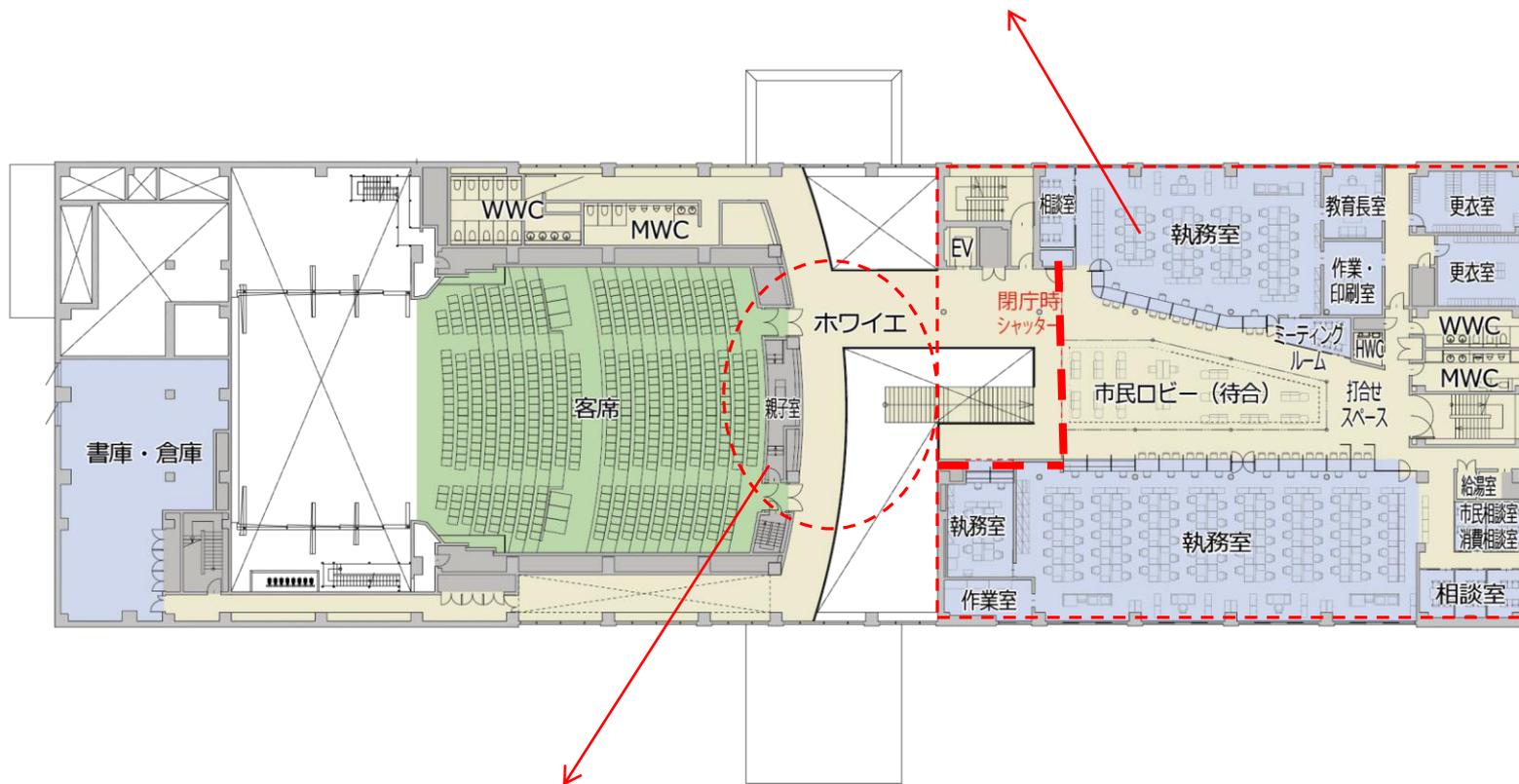


## 2. 新庁舎建設基本設計（案）

### （3）平面計画

## 2階平面図（市民窓口エリア）

●市民が利用する窓口部門をワンフロアに集約



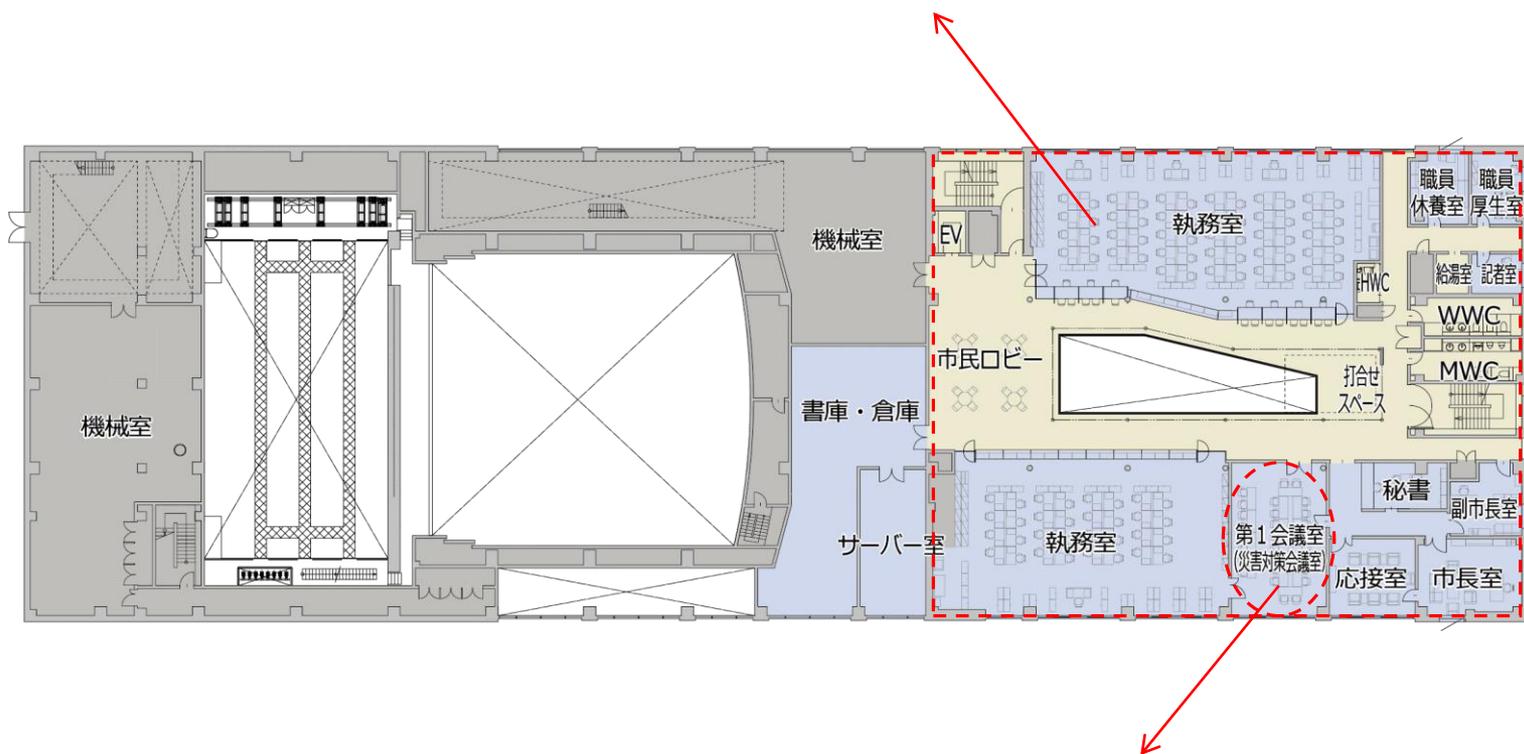
●大ホールの「ホワイエ」や「親子室」

## 2. 新庁舎建設基本設計（案）

### （3）平面計画

#### 3階平面図（執務室エリア（災害対策本部））

●特別職室や管理部門、事業部門を配置



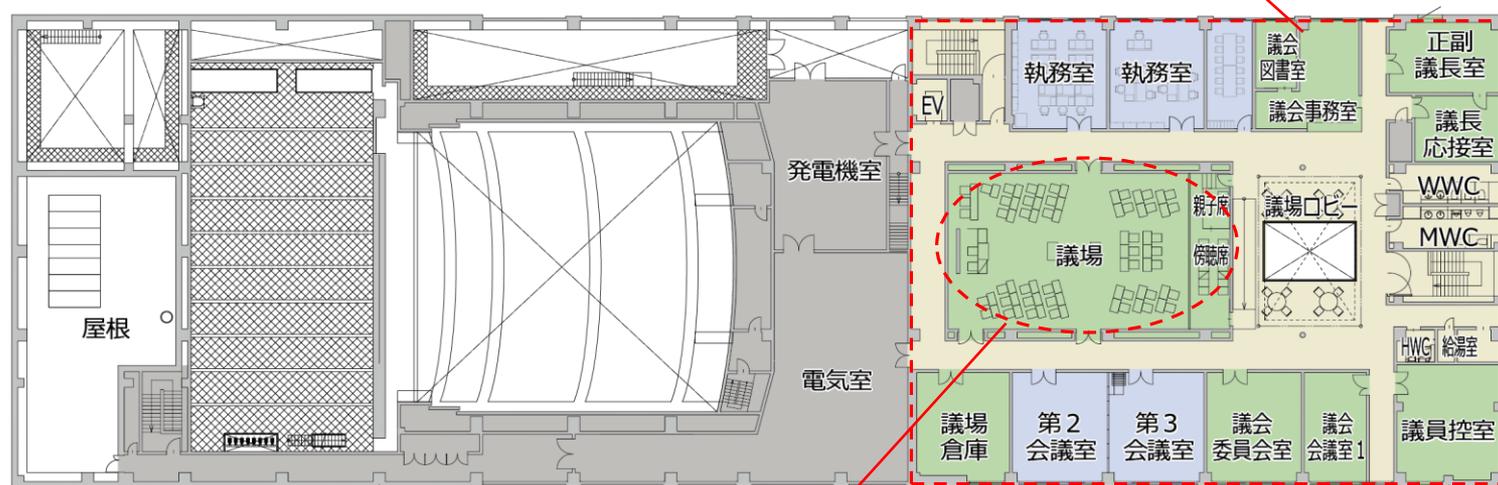
●災害発生時に迅速な対応に「災害対策会議室」設置

## 2. 新庁舎建設基本設計（案）

### （3）平面計画

#### 4階平面図（議会エリア）

● 議会関連諸室をワンフロアに集約



● 段差のない床面、可動席、会議等でも利用可能な「議場」  
傍聴席にはスロープや「親子席」設置

## 2. 新庁舎建設基本設計（案）

### （3）平面計画

#### 内観イメージ

#### 各階に配置する部署（予定）

階数	部署名
4階	議会事務局、選挙管理委員会事務局、 監査委員事務局、公平委員会事務局、 総務課（統計）、地籍調査課
3階	企画振興課、総務課、財政課、農林課、 中心街整備推進課、都市施設課、 都市建築課、上下水道課、 農業委員会事務局
2階	市民課、環境課、税務課、福祉課、 高齢福祉課、会計室、市民相談室、 消費相談室、学校教育課、社会教育課、 こども未来課
1階	総合窓口 市民協働課

※ 各階に配置する部署は、今後の組織改編等により変更の可能性があります。



1階 市民ロビー内観イメージ



2階 市民ロビー内観イメージ

## 2. 新庁舎建設基本設計（案）

### （3）平面計画

#### 内観イメージ（大ホール）

- ▶ 文化芸術振興の拠点
- ▶ 音楽や式典、講演会等の多目的ホール
- ▶ 客席 551席  
（固定席 545席 車いす席 6席）
- ▶ 音響反射板、ピアノ庫、楽屋、  
防音性能のあるリハーサル室配置



大ホール 内観イメージ

## 2. 新庁舎建設基本設計（案）

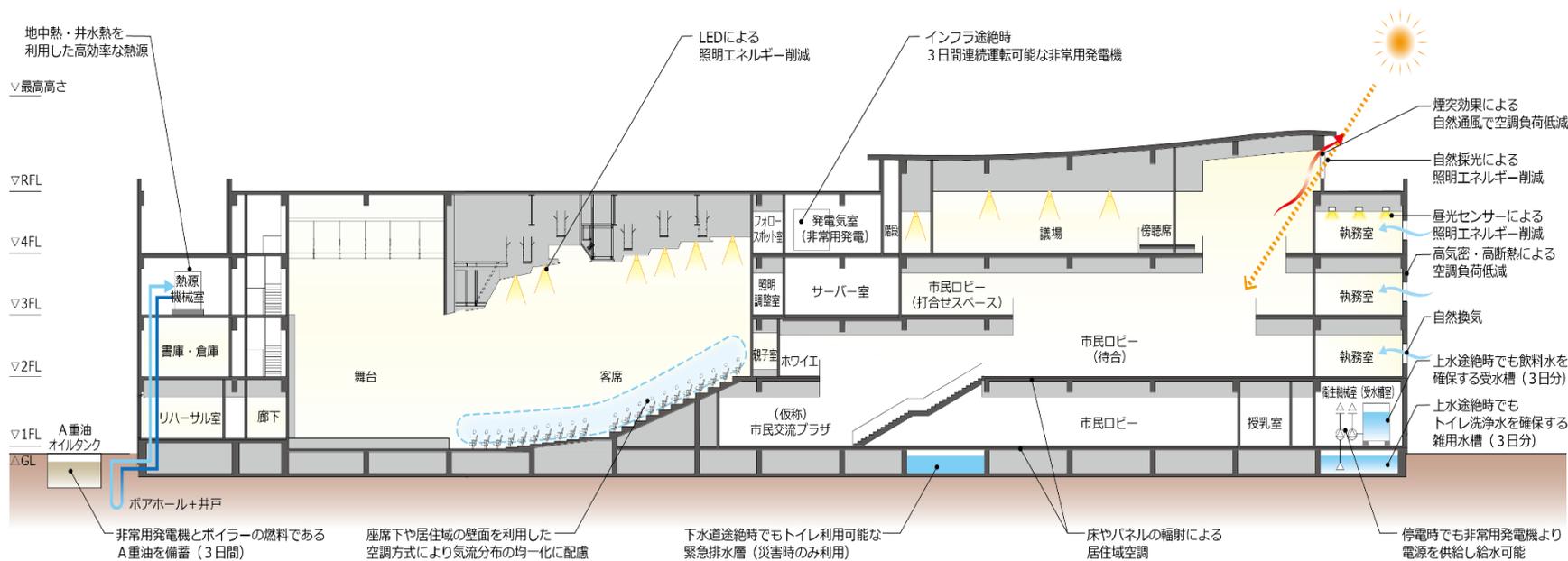
### （4）環境配慮計画（省エネ対応）

#### 光、風、水など自然エネルギーを活かした庁舎

- ▶ 高断熱、高气密化
- ▶ 地中熱と井水熱の再生エネルギーを活用した熱源システム
- ▶ 天窗・コミュニケーションボイド（吹抜空間）からの自然採光・自然通風

#### 高効率な設備システム

- ▶ 高効率熱源を組合せ
- ▶ 明るさセンサー・人感センサーの設置
- ▶ 全館LED照明



## 2. 新庁舎建設基本設計（案）

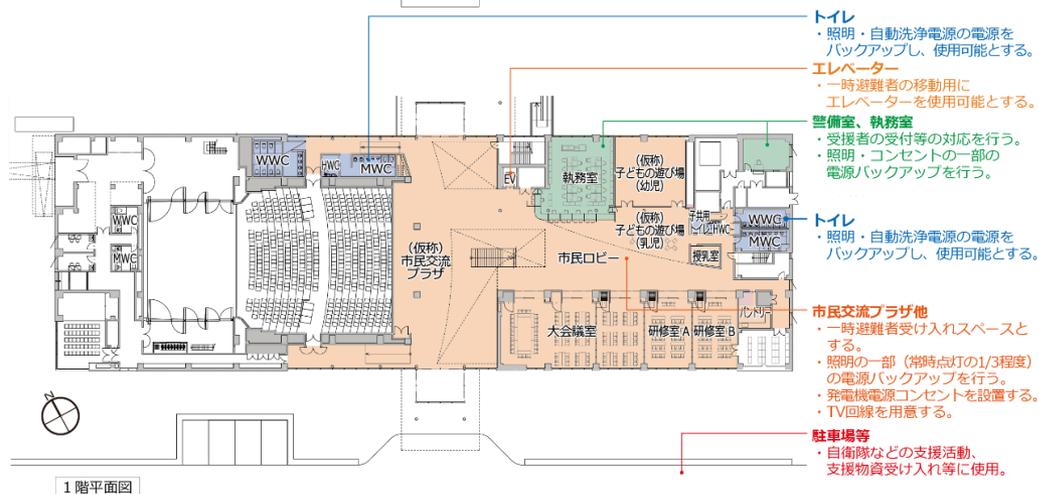
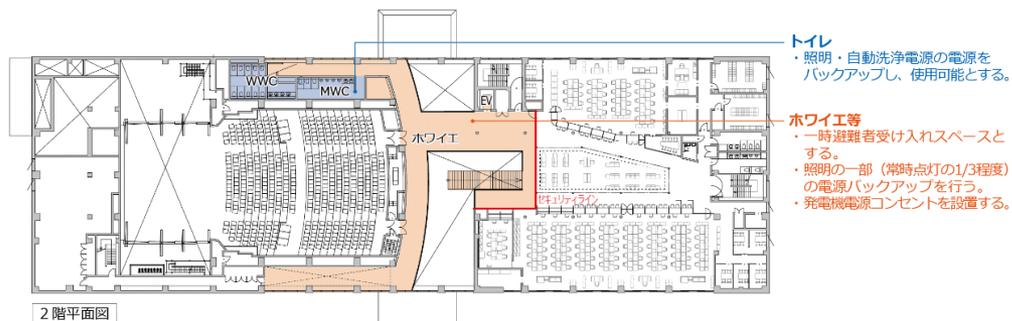
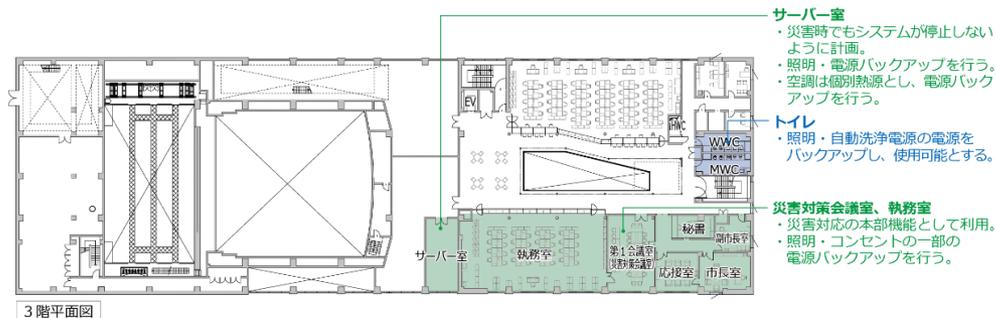
### (5) 防災計画

#### 防災拠点機能

- ▶ 災害非常時に、防災拠点機能が十分に発揮できる安全性・信頼性の高い施設
- ▶ 耐震性能 官公庁基準の最高レベル
- ▶ 非常用発電機と燃料（3日間）確保
- ▶ 受水槽・雑水槽の備蓄（3日間）確保

#### 避難者の受け入れ

- ▶ 指定緊急避難場所（一時避難場所）
- ▶ 市民交流プラザ、市民ロビー等を避難者収容場所に利用。照明の一部や非常用電源コンセントの確保
- ▶ 3階の災害対策会議室、執務室の一部は災害対応及び復旧作業用。照明や電源の確保
- ▶ サーバー室は災害時でもシステム稼動
- ▶ トイレは照明の一部や自動洗浄電源の確保で使用可能
- ▶ 南側駐車場は支援活動、支援物資受け入れ等に使用



## 2. 新庁舎建設基本設計（案）

### （6）概算工事費及び事業スケジュール

#### 概算工事費

区分	金額	備考
建設工事費	50.3億円	建築工事、電気設備工事、機械設備工事
解体工事費	5.8億円	庁舎及び文化会館解体
外構工事費	1.2億円	駐車場等整備など
合計	57.3億円	消費税10%含む

※ 備品購入費、移転費、システムネットワーク経費等は含んでいません。引き続き工事費縮減に努めます。

#### 事業スケジュール



### 3. 今後のスケジュール

#### 基本設計決定のスケジュール

